

電子顕微鏡標本作製等の受託サービス

受託業務の種類

- * 透過型電子顕微鏡標本作製(免疫電顕も)
- * 走査型電子顕微鏡標本作製(消化法も)
- * マイクロスライサー切片作製
- * レーザー顕微鏡・光顕撮影
- * 凍結切片作製
- * 免疫蛍光染色作製

全てを関連付けてのご依頼も賜ります。

目的により固定液の種類や手法が異なります。
実験前にご相談頂けたら、実験目的に合った方法をサポート致します。

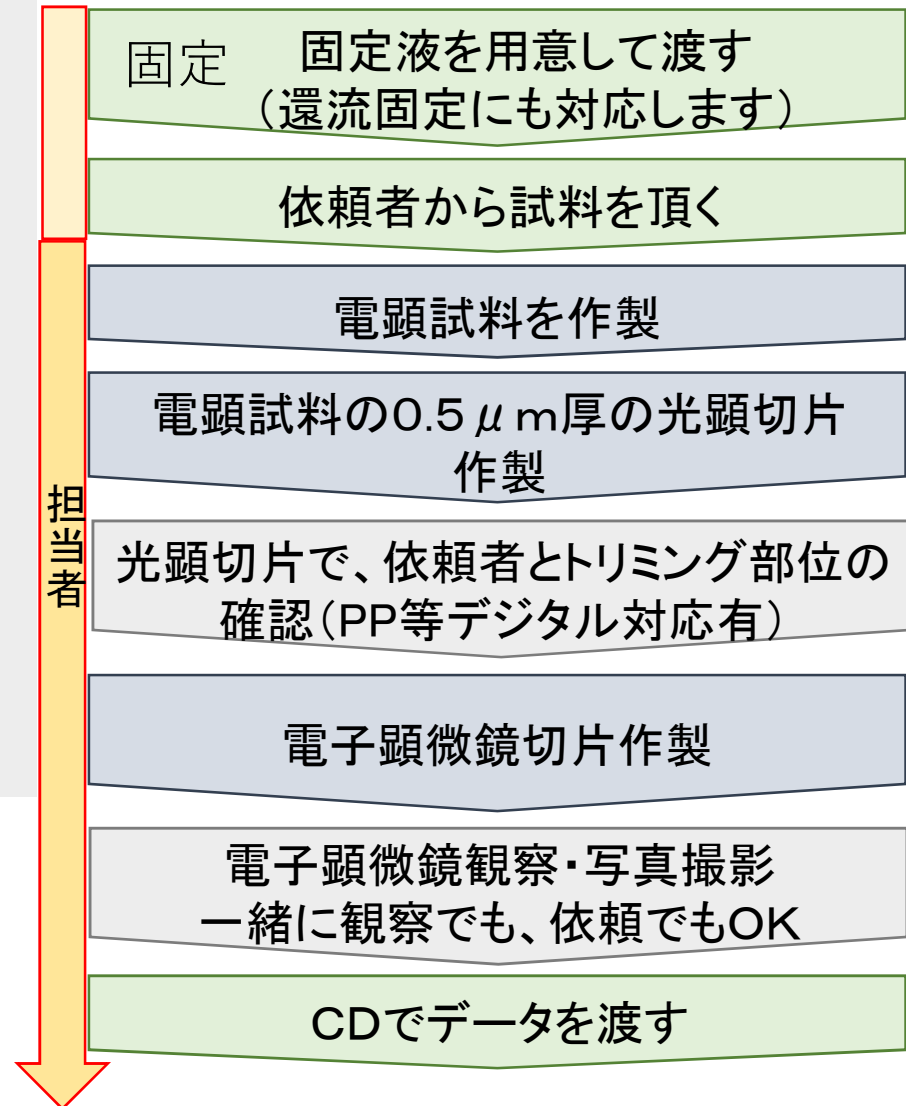
担当： 首藤

連絡：TEL 089-960-5451

Mail: shudo.masachika.sv@ehime-u.ac.jp

実験室： 1階電子顕微鏡室

例：透過型電子顕微鏡標本依頼の流れ



受託業務の内容

* 透過型電子顕微鏡標本作製
真空中
細胞・組織の内部を
(薄切した切片を観て)
ナノメートル単位で観察・撮影する。

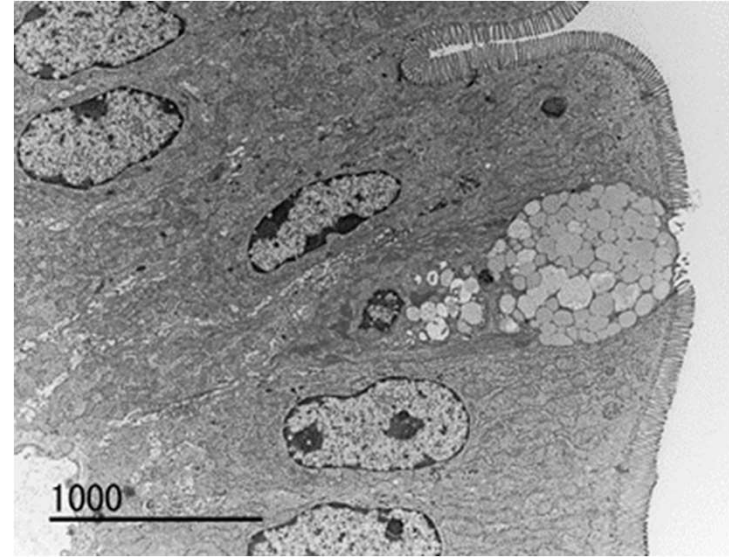
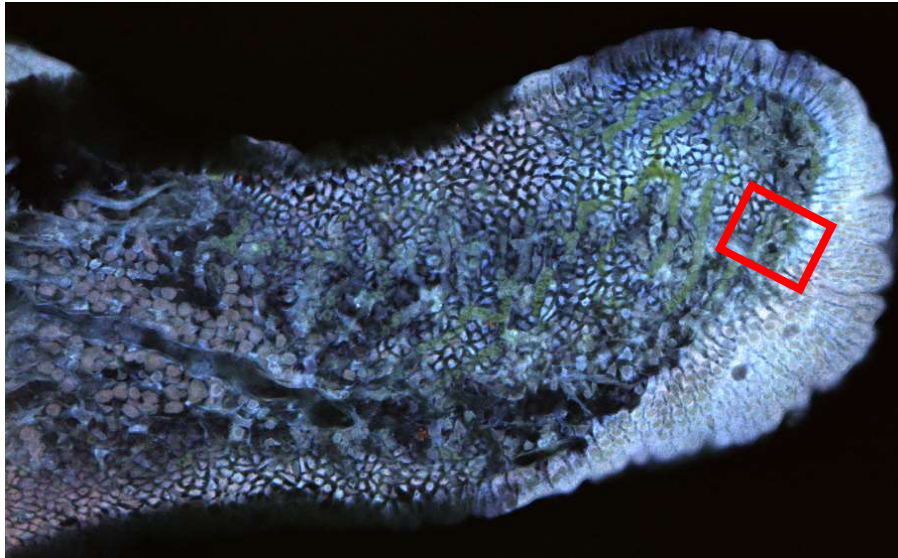
* 走査型電子顕微鏡標本作製
真空中
細胞・組織の表面を
ナノメートル単位で観察・撮影
と元素分析する。

* マイクロスライサー切片作製
固定試料・生組織を
カミソリの刃を振動させて
数十～数百 μm 厚に
切片を作製する。

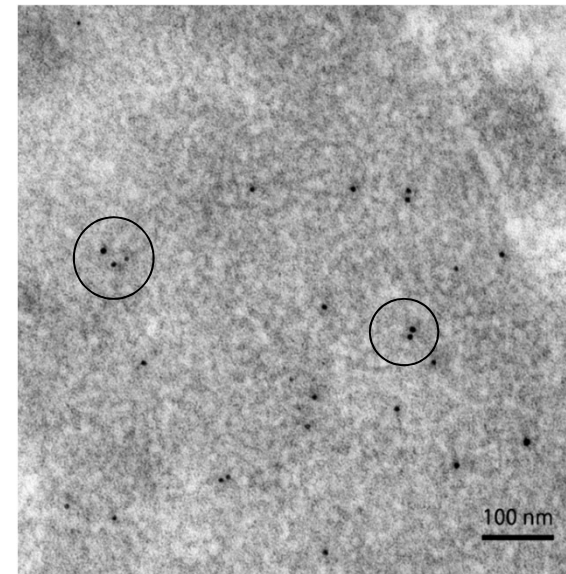
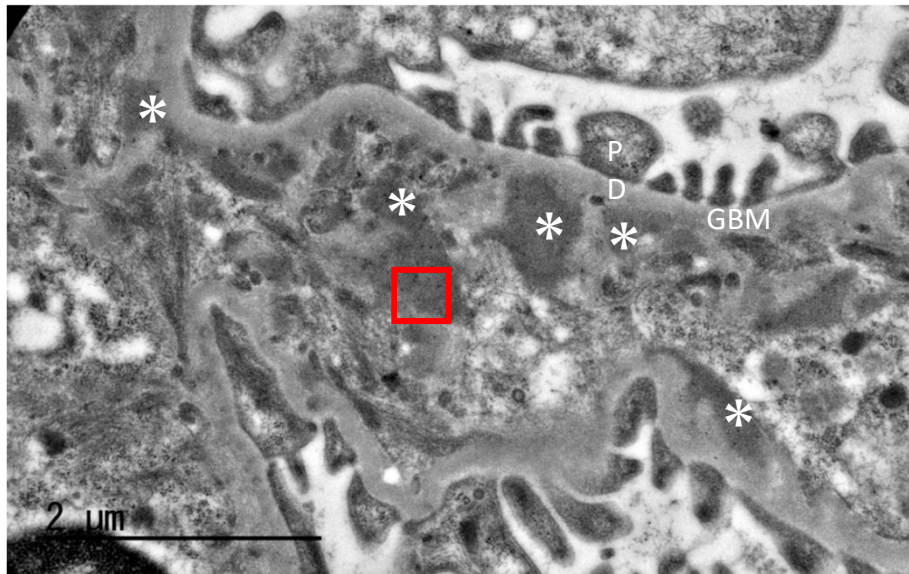
* レーザー顕微鏡・光顕撮影
蛍光標識した試料を
ピントの合った共焦点画像で
三次元構築画像を観察・撮影する。
試料作製も受託致します。
撮影・条件検索も一緒に致します。

* 凍結切片作製
凍結させた組織を
数 μm ～数十 μm 厚に作製する。
薄切も承ります。
ただ今、修理中。

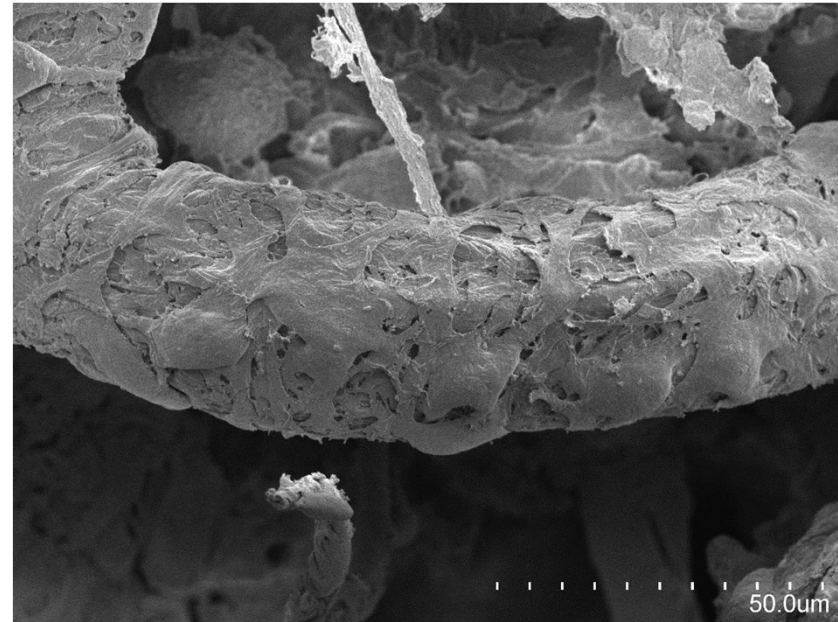
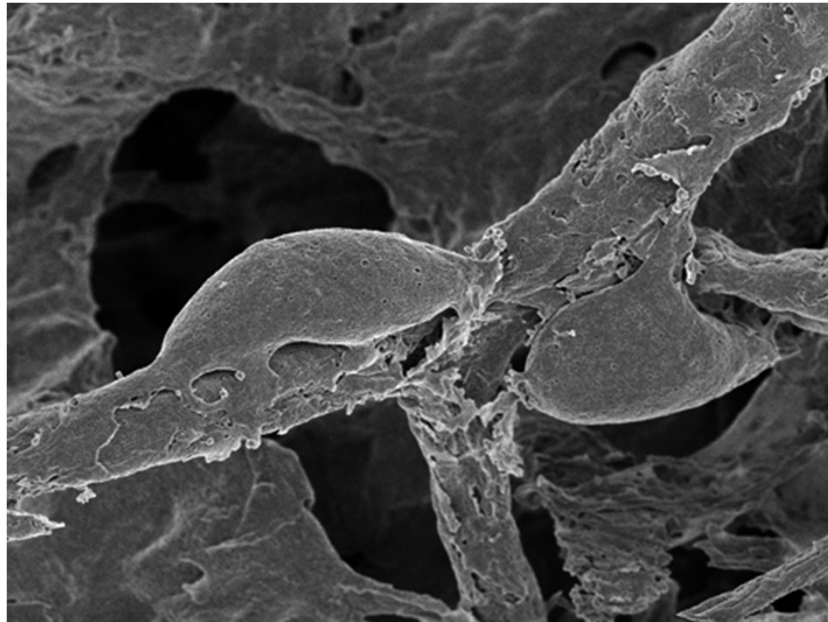
* 免疫蛍光染色作製
電子顕微鏡試料での金コロイド法
やDAB法など。
凍結切片やマイクロスライサー切片
を用いた免疫蛍光染色など。



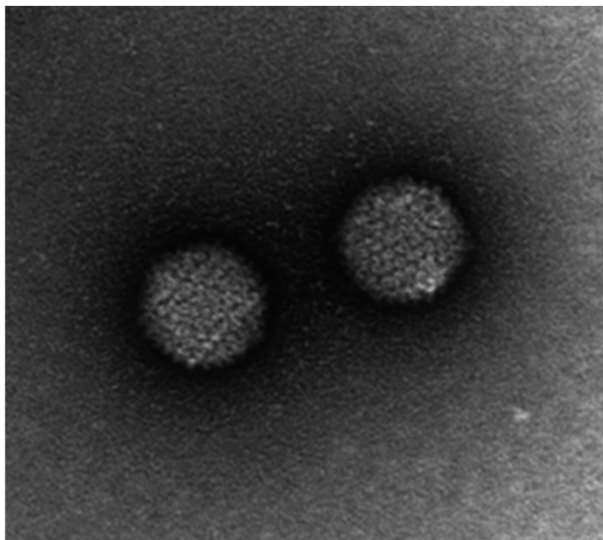
マウス・腸組織で、3D LSM画像(左図)取得後に、
同一部位 □ を透過型電子顕微鏡で撮影した写真(右図)



マウス・腎臓・糸球体組織の5・10nm金コロイド免疫電子顕微鏡法:
左図は低倍、右図は □ の拡大写真



KOH結合組織消化法を用いた走査型電子顕微鏡写真(マウス微小血管(左図),リンパ管)



AdenoVirusの透過電子顕微鏡写真
(Negative Stain)

当施設で作製した
写真の一部です。
その他、臨床症例
等対応可能です。
ご連絡をお待ちし
てます。

